

1 ボディ・ソーラータイプ
GPS & レーダー探知機

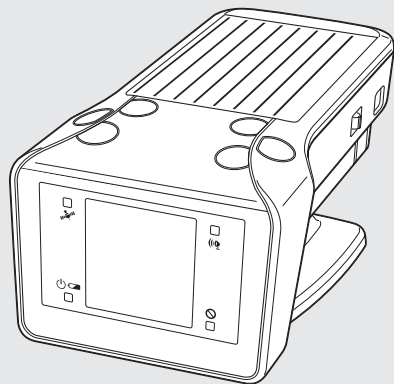
S353si

取扱説明書／保証書(裏面)

12V車専用 ダウンロード対応

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

本機は、スピード取締り機の前を走らせてお知らせする受信機です。



- ・ レーダー波を発射しない取締り(光電管式、追尾方式など)やステルス型取締りの場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけてください。

目次

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	6
各部の名称とはたらき	8
取り付けかた	10
充電について	13
microSDカードの出し入れ	15
基本的な使いかた	16
表示内容	18

使いかた

レーダー編	
レーダー波受信時の動作について (レーダーアラーム)	20
レーダー波3識別(IDSP)について	21

GPS 編	
GPS 測位機能について	22
GPS28識別について	23
警告させたい地点を登録する (マイエリア登録)	27

無線編	
5バンド受信機能について	28

設定編	
各種設定のしかた	30

その他

GPS データ更新	36
取締りのミニ知識	37
取締りレーダー波を受信しにくい場合	38
故障かな?と思ったら	39
仕様	40
アフターサービスについて	41
保証書	裏表紙

はじめに

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険：危険内容を無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う高い可能性が想定されます。

⚠警告： 警告内容を無視した取り扱いをすると、死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定されます。

⚠注意： 注意内容を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる危険な状態が生じることが想定されます。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

☞ この記号は、関連するページを示します。

●ニッケル水素電池について

⚠ 危險

 分解、改造、はんだ付けしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

 ニッケル水素電池の端子部を針金などの金属で接続しない。また、他の金属と一緒に保管したり、持ち運びしない
…ニッケル水素電池がショート状態となり、火漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

! 万一、ニッケル水素電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

 火の中に投入したり、過熱したりしない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

警告

 ニッケル水素電池を濡らさない。また、濡れたニッケル水素電池を充電したり、使用しない…故障、感電、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

! ニッケル水素電池が漏液したり、変色・変形、その他今までと異なることに気付いたときは、使用しない…発熱、発煙、破裂、発火の原因になる恐れがあります。

濡れた手でニッケル水素電池をさわらない…感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

! ニッケル水素電池を充電するときは、
取扱説明書をよくお読みください。

 ニッケル水素電池の被覆をはがさない
…故障、感電、発熱、発煙、発火、破裂
する原因となります。

 指定(専用ニッケル水素電池)以外の電池を使用しないでください。

! 乳幼児の手の届かないところに保管する。また、使用する際も、乳幼児が機器本体から取り出さないようご注意ください。

 火のそば、ストーブのそばなどで充電したり、放置しない…ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂する原因となります。

⚠警告

-  水をつけたり、水をかけない。また、濡れた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
-  機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
-  取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
-  万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
-  エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしていない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグコード使用時に配線が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。
-  急発進したり急ブレーキをかけない…安全運転上、大変危険です。また、本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
-  車両のバッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
-  医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

⚠警告

シガープラグコード接続時

-  シガーライターソケットやシガープラグコードのプラス端子、マイナス端子の汚れはよく拭く…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
-  シガープラグコードは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
-  濡れた手でシガープラグコードの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。
-  12V車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、シガーライターソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
-  煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部に修理をご依頼ください。

⚠注意

-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  取り付けや取り外しは確実に行う…落ちたりして、ケガや破損の原因となります。
-  突起部分などでケガをする恐れがあります。取り付けや取り外しの際は十分ご注意ください。
-  本体を保管する場合は、ソーラーパネルや本体外装部が衝撃等により破損しないようにご注意ください。
-  車から離れるときは、電源を切る…本機はオートパワー OFF 機能を搭載していますが、使用しないときは電源スイッチをOFFにしてください。

シガープラグコード接続時

-  シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。コードを持たずに抜いてください。
-  お手入れの際は、シガープラグコードを抜く…感電の原因となります。
-  車から離れるときは、シガープラグコードを抜く…エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 必ず専用のニッケル水素電池を接続してご使用ください。ソーラー電卓などとは違い、ソーラーパネルだけで動作させることはできません。
- 本機は、シガープラグコードを接続せずにニッケル水素電池だけで使用することも可能ですが、その場合の連続使用時間は、無警報の状態でも20時間以内となります。通常は、シガープラグコードを車両から接続してご使用いただくことをおすすめいたします。
- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能(● 22ページ)がはたらかない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

ニッケル水素電池に関する注意

- 本機を初めてご使用になられる場合は、シガープラグコードからの充電を行ってください。(● 13ページ)
- 本機は半永久的にソーラーパネルのみ(コードレス)で利用できる訳ではありません。ローバッテリー警告(● 14ページ)が鳴った場合は、シガープラグコードからの充電を行ってください。
- 本機はGPS受信機を搭載しており、電流を多く消費します。ご使用になる条件によっては電池の消耗が早くなることがあります。
- 専用ニッケル水素電池には寿命があります。充電を行っても、使用できる時間が短くなった場合は、新しい専用ニッケル水素電池と交換が必要です。交換用ニッケル水素電池の購入についてはお買い上げの販売店にご注文ください。

ソーラーパネルに関する注意

- 駐車するときは、ソーラーパネルに直射日光がよく当たるように、南向きに駐車するように心がけてください。
- 冬期は、日照時間やソーラーパネルの性能上、充電しにくくなります。

表示部

- 表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- 直射日光が当たると、反射により表示部が見えにくくなる場合があります。

シガープラグコードに関する注意

- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

レーダーアラーム(● 20ページ)に関する注意

- 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- 狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。(● 21ページ)
- レーダー波を使用しない速度取締り(光電管式など)の場合、事前に検知することができませんので、あらかじめご了承ください。

GPS測位機能(● 22ページ)に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- 走行速度や距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。GPS測位状況によって、実際とは異なる場合があります。
- 車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。
- 新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報でできませんのであらかじめご了承ください。
- GPS警報の左右方向識別ボイス(● 25ページ)は、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

無線2バンド受信機能(● 28ページ)に関する注意

- カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機は、受信した無線音声を聞くことができません。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー2識別(● 29ページ)は、はたらかしません。

画面表示に関する注意

- 表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。

- アイコン表示(● 18ページ)はGPS測位状況や各種設定状況により異なります。
- GPS測位が完了するまでは、「測位情報」を表示し、GPS測位すると設定した待受画面を表示します。
- 日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 時刻の表示は、12時間表示です。24時間表示に変更することはできません。
- 走行速度や距離などの表示は、GPSの電波で計測しており、補正機能はございません。GPS測位状況によって、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。なお、車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- 渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。

ニッケル水素電池での連続使用時間の目安

満充電から無警報の状態、約20時間以内
※連続使用時間は、GPS測位の状況や警報回数により異なります。

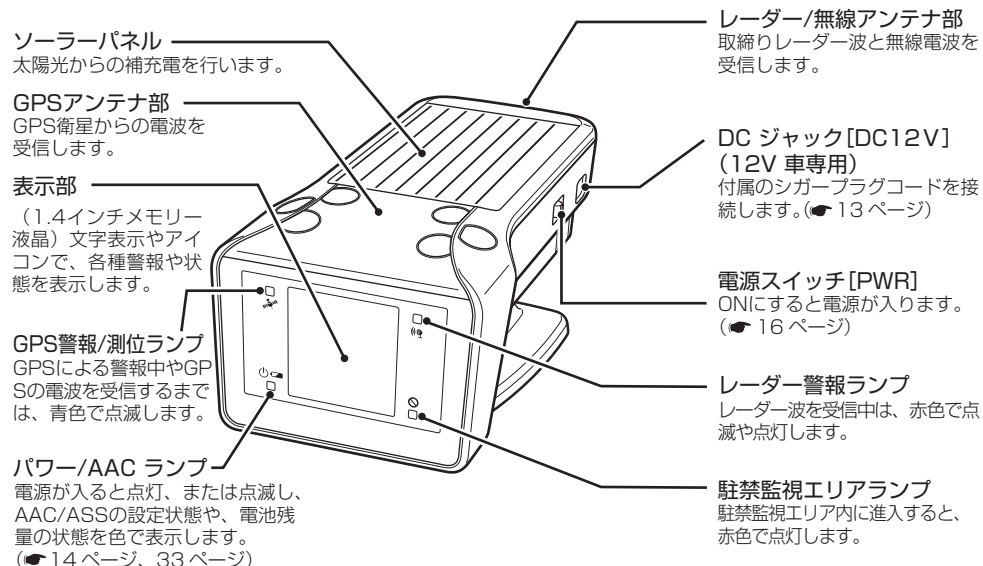
バックライトの動作

- ニッケル水素電池だけで使用している場合、暗いと判断される状態で警報や音量の変更、設定モード中のみ、バックライトが点灯します。
- シガープラグコードから電源を供給している場合、電源ONの間、常時バックライトが点灯します。

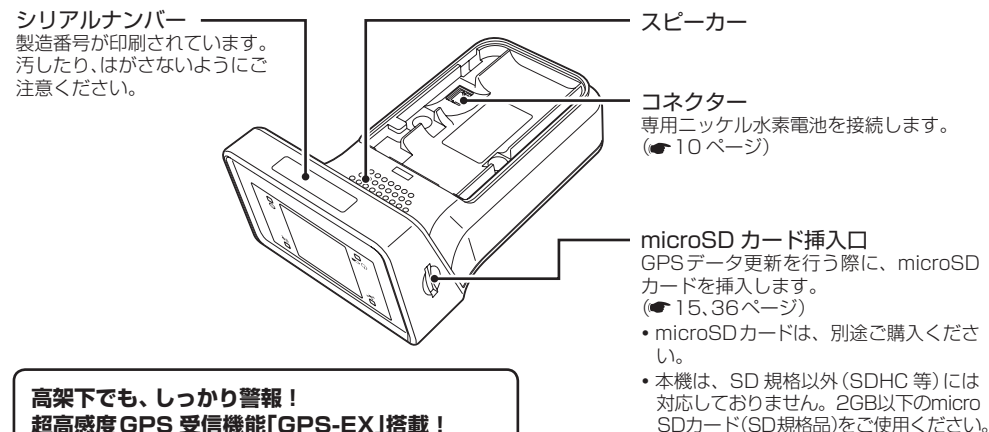
各部の名称とはたらき

本体

正面

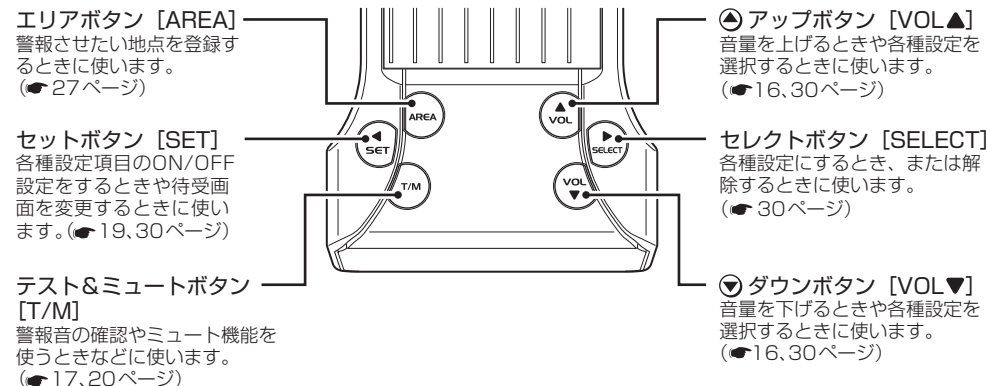


背面



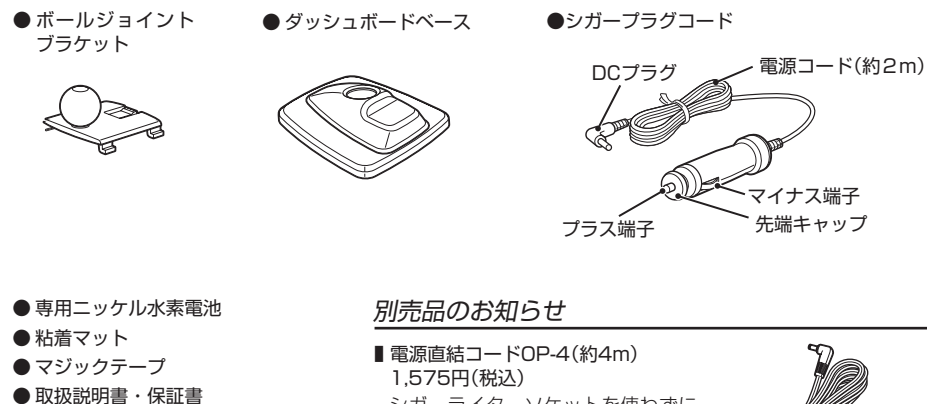
**高架下でも、しっかり警報！
超高感度GPS 受信機能「GPS-EX」搭載！**
弱信号捕捉技術により、感度が大幅に向上した超高感度GPSモジュールを採用。今まで警報しなかった高架下などの弱信号環境においても、途切れにくい動作を可能にし、警報できるようになりました。

ボタン



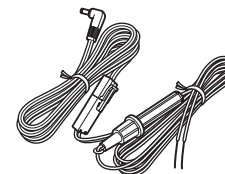
付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。



別売品のお知らせ

- 電源直結コードOP-4(約4m)
1,575円(税込)
シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリ系端子から直接電源をとることができます。
- 交換用ニッケル水素電池
2,100円(税込)
本電池は本機専用です。



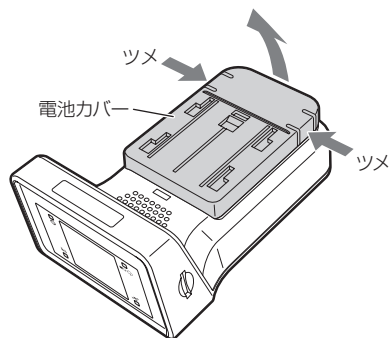
※ 紛失による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、購入店、または弊社製品取扱店でご注文ください。



専用ニッケル水素電池の取り付け

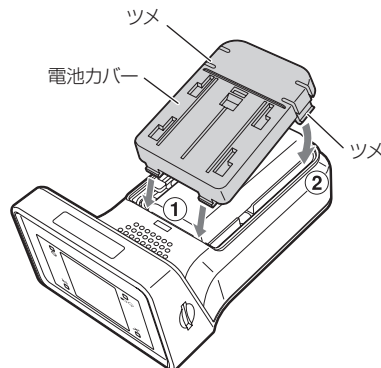
1 電池カバーを外す

ツメの部分を押しながら引き上げます。



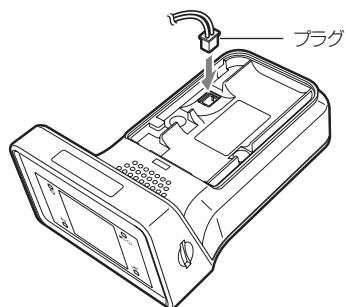
3 電池カバーを取り付ける

①の方向に差し込み、ツメの部分を押さえて②の方向に下げ、ツメを固定します。



2 付属の専用ニッケル水素電池を接続する

本体底面のコネクターに、専用ニッケル水素電池のプラグを向きに注意して差し込みます。



ニッケル水素電池を外すときは (交換時など)

電池カバーを外してから、ニッケル水素電池を外します。

お願い

本機は、リサイクル可能な電池(ニッケル水素電池)を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、端子部をテープなどで絶縁して(端子部の金属が露出していない場合は除く)最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。

- リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC のホームページ (<http://www.jbrc.net/hp>) をご参照ください。



ニッケル水素電池はリサイクルへ

本機は、自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットを採用しています。また、国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。

粘着マットについて

強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。はがしても跡が残りにくいのが特長です。

粘着マットの上手な使いかた

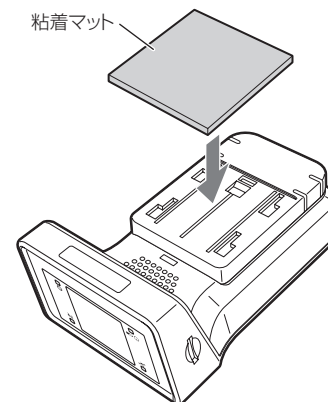
- 貼る場所の表面に、ホコリや汚れがないことを確認してください。
- 貼り付ける側の保護シートをはがし、しっかり貼り付けてください。
- できるだけ水平に近い平坦な場所に取り付けてください。
- ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

※ 粘着マットで安定した取り付けができない場合は、同梱のマジックテープを使用するか、市販の強力型両面テープ(厚さ 2mm 以上)を使用し、固定してください。まれに、ダッシュボードが変色・変形(跡が残る)することがありますが、あらかじめご了承ください。

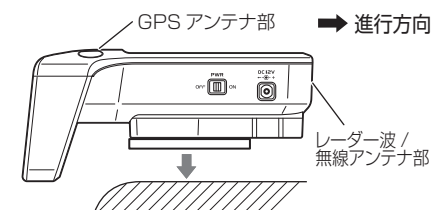
車両への取り付け

ダッシュボードに直付けする

1 電池カバーに粘着マットを貼り付ける



2 本体を道路に対して水平に近く、レーダー波/無線アンテナ部が進行方向(車両前方)を向くように、ダッシュボードに固定する



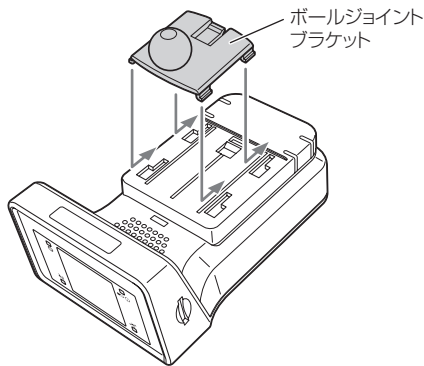
- GPSアンテナ部の上やレーダー/無線アンテナ部の前に、他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこえないような水平に近い平坦な場所に取り付けてください。



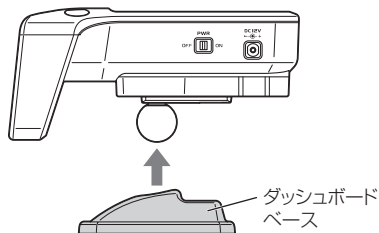
ブラケットを使用して取り付ける

1 本体にボールジョイントブラケットを取り付ける

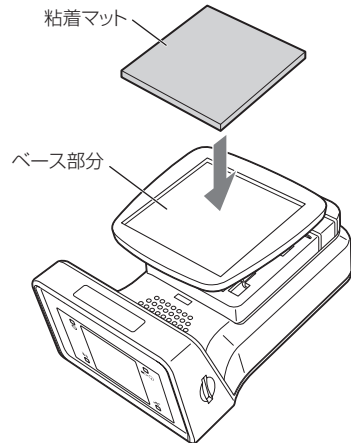
電池カバーとボールジョイントブラケットの形状が合うようにはめ込み、スライドさせます。



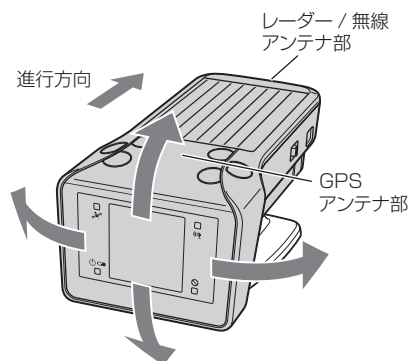
2 ダッシュボードベースをボールジョイントブラケットに取り付ける



3 ベース部分に粘着マットを貼り付ける



4 本体を道路に対して水平に、またレーダー / 無線アンテナ部が進行方向(車両前方)を向くように、角度を調整し、ダッシュボードに固定する



- GPSアンテナ部の上やレーダー/無線アンテナ部の前に、他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような水平に近い平坦な場所に取り付けてください。
- ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボードベースを持って、ゆっくりと行ってください。本体を持つと、破損の原因となります。

本機は、シガーライターソケットからの充電・使用に加え、ソーラーパネルによる太陽光からの補充電ができます。

初めてご使用になるときやローバッテリー警告が鳴った場合は、シガープラグコードからの充電を行ってください。

- 充電は電源スイッチの ON/OFF に関係なく行われます。

シガープラグコードからの充電

1 付属の専用ニッケル水素電池を接続した状態で、付属のシガープラグコードを、DC ジャックと車のシガーライターソケットに差し込む



シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。

- エンジンを止めた場合に、シガーライターソケットに電源が供給されない車種であれば、シガープラグコードを常に接続した状態でご使用いただけます。

2 10時間(例 1日2時間で5日)以上使いながら充電したあと、シガープラグコードを本体DCジャックから抜いてテスト&ミュートボタン[T/M]を押し、パワー/AACランプが[満充電]状態であることを確認する(☛14 ページ)

充電終了後もニッケル水素電池は接続したままご使用ください。

ソーラーパネルからの充電(補充電)

● ソーラーパネルに太陽光がよく当たる場所に取り付ける

駐車するときは、ソーラーパネルに直射日光がよく当たるように心がけてください。

- ※ バッテリー(専用ニッケル水素電池)の放電が進むと、太陽光からの補充電ができにくくなる場合があります。このようなときは、シガープラグコードからの充電を行ってください。

充電方法とパワー/AAC ランプ

充電方法により、パワー /AAC ランプが変わります。

充電方法	パワー /AAC ランプ
シガープラグコード	点灯
ソーラーパネル	点滅

•パワー /AAC ランプの色は、AAC の設定状態によって変わります。

ローバッテリー警告とバッテリー残量表示

●ローバッテリー警告

充電不足でバッテリーが消耗してくると、ボイス・アラームのお知らせを行います。

バッテリーの状態	ボイス・アラームのお知らせ
バッテリーが消耗し、 すぐに充電が必要な状態 •すべての機能が動作しなくなります。	『充電してください』とローバッテリー警告のお知らせを行います。 続けて『ブブブッ ブブブッ…』とローバッテリー警告が約 1 分間鳴ります。

●バッテリー残量表示

シガープラグコードを本体 DC ジャックから抜いた状態でテスト&ミュートボタン[T/M]を押している間、バッテリーの状態を表示します。

バッテリーの状態	パワー /AAC ランプ
残量が十分 [満充電]	緑色点灯
少し消耗	オレンジ色点灯
残量が少ない	赤色点灯

- 電源を入れても、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
- 温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリーの残量を正しく表示できないことがあります。

※付属の専用ニッケル水素電池には寿命があります。充電を行っても使用可能時間が短くなった場合は、販売店に「S353si 用のニッケル水素電池」とご注文のうえ、新しい電池を購入し、交換してください。

オービスデータ更新の際(☛ 36 ページ)は、市販の2GB以下のmicroSDカードを別途ご用意ください。

※microSD との相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

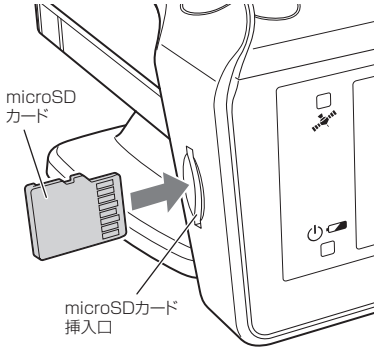
⚠ 注意

- microSDカードの出し入れは、必ず電源がOFFの状態で行ってください。
- microSDカードは一方方向にしか入りません。microSDカードを下図のように差し込んでください。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。
- データ更新中は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。

電源をOFFにしてmicroSDカード挿入口に、microSDカードを『カチッ』と音がするまで差し込む

右図の向きに合わせて差し込んでください。

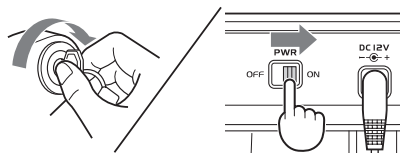
- microSDカードは、本機専用でご使用ください。
- microSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。
- microSDカードは、必ず取り外してご使用ください。
- microSDカードの接続や取り外しは、無理に差し込んだり引き抜かないでください。
- microSDカードを接続したままの状態や、半分挿入した状態でご使用にならないでください。
- microSDカードを取り外したあとは、各 microSD カードの説明書の指示にしたがって大切に保管してください。



1 電源を入れる

車のエンジンを始動し、電源スイッチを「ON」にします。

電源 ON 時の起動音が鳴り、オープニング画面が表示されます。



【オープニング表示】

電源が入ると、「GPS 測位機能」(☞22 ページ) がはたらき、GPS の電波を受信すると、待受画面が表示されます。



「測位しました」

2 音量を調節する

▲アップボタン [VOL ▲] / ▼ダウンボタン [VOL ▼] で調節できます。

『ピッ』という確認音を聞きながら調節します。

最大音量からさらに▲を押すと『ブッ』と鳴ります。



3 実際に走行してみる

GPSターゲットに近づくと…



「500m先
ループコイルです」

取締無線を受信すると…



「取締無線です」

ステルス波を受信すると…



「ステルスです
ステルスです」

テストモード

テスト&ミュートボタン[T/M]を押している間はテストモードとなり、警報音を確認できます。いったんテスト&ミュートボタン[T/M]から指を離し、1秒以内に再度押すと、ボイスフリーズを確認できます。

オートパワーON/OFF

●ニッケル水素電池だけの使用時

電源スイッチが ON 状態で、アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分間以上続くと、自動的に電源が切れます。再度、振動を検出すると電源が入ります。

- 振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。使用しないときは電源スイッチで電源を OFF にしてください。
- 走行中でも、低速走行や一時停止など、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワー OFF がはたらきます。

●シガープラグコード接続時

電源スイッチが ON 状態で、シガープラグコードまたは電源直結コード(OP-4)接続時は、DC12V 電源の供給の有 / 無で電源を ON/OFF します。

バックライト

●ニッケル水素電池だけの使用時

ソーラーパネルへの光量から、暗いと判断された状態で、次の動作を行うとバックライトが点灯します。

- 警報時
- 設定モード時
- 音量変更時

●シガープラグコードからの電源供給時

電源 ON の間、常時バックライトが点灯します。

アイコン表示について



表示名		アイコン	表示の意味
①	方位磁針		GPS 測位後に表示し、黒色の針が北方向を指します。
②	レーダー警報		レーダー波を受信すると表示します。 (☛ 20 ページ)
③	車上狙い多発エリア		車上狙い多発エリア内で表示します。 (☛ 35 ページ)
	駐禁監視エリア		駐禁監視エリア内で表示します。 (☛ 34 ページ) ※ 車上狙い多発エリア内では、車上狙い多発エリアアイコンが優先して表示されます。
④	時刻		現在の時刻を表示します。

- 表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- 停車状態では正しい方位を表示できない場合があります。

GPSも、無線も、レーダーも、表示とボイスのダブルで警報します。

- GPS 28 識別
- 無線 2 バンド識別
- ベストパートナー 2 識別
- レーダー波 3 識別

ターゲット35 識別

主な表示例は、次のとおりです。

メッセージ表示例

待受画面

待受時の表示画面を「緯度・経度」、「時計」、「速度」、「カレンダー」、「測位情報」、「OFF」の中から選択できます。セットボタンを押すごとに、以下の順番で待受画面が変更されます。

デジタル時計 & 緯度・経度

時刻と現在の緯度・経度を表示



アナログ時計

時刻を表示



速度

SPEED 欄に走行速度を表示します。
注意が必要な場所では LIMIT 欄に制限速度を表示します。
(☛ 26 ページ「 オービス制限速度」)



OFF

表示されません



測位情報

衛星捕捉数を表示



カレンダー

日付を表示



- 日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 時刻の表示は、12 時間表示です。
※ 午前、午後 (AM、PM) の表示はありません。

- 走行速度の表示は、GPS 測位状況により実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- 制限速度の情報が無い場合、LIMIT 欄の表示は「0km/h」となります。
- 制限速度表示は、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりません。

フレックスディマー

夜間は、各ランプの明るさを抑え、眩しさを防ぎます。
GPS の時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて自動的に各ランプの明るさを調整します。

レーダー波受信時の動作について(レーダーアラーム)

本機は、W アラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。[レーダーアラーム]

W アラーム

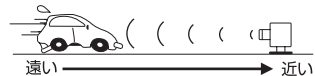
音(電子音/ボイス)と表示のダブルで警報します。

後方受信

iDSP による超高精度識別およびエクストラの高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もしっかり受信します。

接近テンポアップ

取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)にあわせて変化します。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
液晶表示	受信レベルが 変化します。  受信レベル 表示

・ボイスはテンポアップしません。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車両通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

オートクワイアット

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなります。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができれば警報中にテスト&ミュートボタン[T/M]を押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

レーダー波3識別(iDSP)について

本機は、iDSP/ 統合的デジタル信号処理技術(Integrated Digital Signal Processing-Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、インテリジェントキャンセル(☛ 32 ページ)により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

1 ステルス波



2 通常レーダー波



3 キャンセル告知



- ・レーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
- ・新 H システムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ・ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

＜ステルス波を受信したとき＞

受信

♪効果音のあとに
『ステルスです
ステルスです』


『ステルスです』と警報したあとは、通常の警報音(電子音、ボイス)の警報になります。



GPS 測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、28種類のターゲットを識別してお知らせします。【GPS28 識別】

●GPS データについて

本機には、あらかじめオービス(無人式自動速度取締装置)やNシステムなどのGPSデータが登録されています。

GPSデータの更新については、36ページ「GPSデータ更新」をご覧ください。

GPS 測位機能は、本機の電源を ON にするとはたらきます。
GPS 測位機能のみ OFF にすることはできません。

測位アナウンスについて

- GPS の電波を受信(測位)すると、『測位しました』とお知らせします。約 5 分経過しても測位できないときは、『GPS をサーチ中です』とお知らせします。
- 測位したあとでも、GPS の電波を受信できない状態が約 1 分以上続くと、『GPS を受信できません』と非測位のお知らせをします。非測位のお知らせをしたあとに、再び測位すると『GPS を受信しました』とお知らせします。
- ビルの谷間など、GPS の電波の受信状態が良くない場合、『GPS を受信できません』『GPS を受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。
- 測位アナウンスを「OFF」にすることはできません。

通常、測位するまで、約 10 秒から約 3 分かかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPS の電波を受信しにくく、測位に 20 分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

GPS28 識別について

つづく

内蔵メモリーに登録されている GPS データのポイントに近づくと、オービスなどのターゲットを 28 種類に識別してお知らせします。

- 警報画面の表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- 警報音(ボイス)は、効果音のあとにお知らせします。

ターゲットと 警報音(ボイス)	警報画面(例)
1 ループコイル 『1km先 ループコイルです』	
2 LH システム 『1km先 LH システムです』	
3 新 H システム 『1km先 H システムです』	
4 レーダー式オービス 『1km先 レーダーです』	
5 トンネル内オービス 『1km先 トンネル内 LH システムです』	
6 トンネル出口ターゲット 『トンネルの出口付近 高速道レーダーです』	
7 オービス制限速度 ※効果音、ボイスはありません。 ※制限速度の情報がない場合、LIMITは「0km/h」と表示されます。	

ターゲットと 警報音(ボイス)	警報画面(例)
8 高速道制限速度切替り ポイント ※ボイスはありません。	
9 マイエリア 『500m先 マイエリアです』	
10 取締エリア 『取締エリアです スピード注意』	
11 検問エリア 『検問エリアです』	
12 取締・検問圏外識別	
13 交差点監視ポイント 『すぐ先 交差点監視ポイントです』	
14 信号無視抑止システム 『すぐ先 信号無視抑止システムです』	

ターゲットと 警報音 (ボイス)	警報画面 (例)
15 高速道交通警察隊  「500m先 高速道 交通警察隊待機所です」	
16 駐禁最重点エリア  「この付近 駐禁監視エリアです」	
17 駐禁重点エリア  「この付近 駐禁監視エリアです」	
18 N システム  「すぐ先 N システムです」	
19 交通監視システム  「すぐ先 交通監視システムです」	警報画面は 表示されません
20 警察署  「500m先 警察署です」	
21 事故多発エリア  「すぐ先 事故多発エリアです」	

ターゲットと 警報音 (ボイス)	警報画面 (例)
22 車上狙い多発エリア  「この付近 車上狙い多発エリアです」	
23 ETC レーン事前案内  「ETC レーンは右側 (左側/中央/両サイド)で す」	
24 サービスエリア  「1km先 高速道 サービスエリアです」	
25 パーキングエリア  「1km先 高速道 パーキングエリアです」	
26 ハイウェイオアシス  「1km先 高速道 ハイウェイオアシスです」	
27 スマート IC  「1km先 高速道 パーキングエリアです スマート IC です」	
28 SA/PA 内ガステーション  「1km先 高速道 サービスエリアです ガス ステーションは〇〇です」	

●オービス 4 段階警報

ターゲット(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式)に対する警報を手前約2km(高速道のみ)/1km/500m/通過中(通過告知)の最大4段階で行います。

ターゲットに近づくとき…

<手前約1km(500m)のとき>
「1km(500m)先(高速道) LHシステムです」
<通過中(通過告知)>
「通過します」

- ・約2km手前の警報(高速道のみ)は、走行路線の制限速度を超えて走行している場合にお知らせします。
- ・GPS 測位状況や走行ルートによって、距離の告知(「1km 先」, 「500m 先」)を「この先」や「すぐ先」とお知らせすることがあります。
- ・トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスの警報は、オービス 4 段階警報とは異なります。

●ターゲット通過告知

オービスの撮影ポイント(※)やマイエリアポイントの通過を告知します。…「ボーン通過します」
※実際のオービスの直下ではなく、その手前の撮影想定ポイントの通過をお知らせするようにしていますので、通過前に告知される場合があります。

- ・GPS 電波の受信状況などにより、告知が遅れる場合があります。
- ・トンネル内オービス、トンネル出口ターゲットはGPS の電波が受信(測位)できないため、ターゲット通過告知がはたらきません。

●左右方向識別ボイス

GPS 警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向をお知らせします。

- ・「右方向」, 「左方向」のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

※以下のターゲットは、左右方向識別ボイスのお知らせはありません。

- ・トンネル内オービス
- ・トンネル出口ターゲット
- ・オービス制限速度
- ・取締・検問圏外識別
- ・駐禁最重点エリア
- ・駐禁重点エリア
- ・車上狙い多発エリア
- ・ETCレーン事前案内
- ・スマート IC
- ・SA/PA 内ガステーション

●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、「高速道」とボイスでお知らせします。

●トンネル内オービス警報

トンネルの中では GPS の電波が受信できないため、従来はトンネル内に設置されているオービスを警報できませんでした。本機では、トンネルの約500m手前と入口直前の2カ所(※)で、トンネル内のオービスを警報画面とボイスでお知らせします。

※ GPS 測位または地理的な状況によっては、1カ所のための警報になります。

●トンネル出口ターゲット警報

トンネルの中では GPS の電波が受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警報できませんでした。トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所(※)で、出口付近のオービスや道の駅などを警報画面とボイスでお知らせします。

※ GPS 測位または地理的な状況によっては、1カ所のための警報になります。

●高速道制限速度切替りポイント

高速道路への進入・復帰の際、または制限速度が切替る場合、高速道路の制限速度を表示します。

※ボイスによるお知らせはありません。

- ・普通自動車に対する制限速度を表示します。事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応していませんのであらかじめご了承ください。

●交差点監視ポイント

過去に交差点で検問が行われたポイントが登録されていて、約300m手前になると、「(右/左方向)すぐ先交差点監視ポイントです」とお知らせします。

- ・交差点監視ポイントのお知らせを OFF にすることはできません。

●オービス制限速度

待受画面で「速度」を選択している場合、オービス（一般道／高速道）（ループコイル／LHシステム／新Hシステム／レーダー式オービス）、高速道制限速度切替りポイント、または一部の取締エリア、検問エリアで、道路の制限速度をLIMIT欄に表示します。

※ボイスによるお知らせはありません。

※制限速度の情報がない場合、LIMIT欄の表示は「0km/h」となります。

・「取締エリア警告」や「検問エリア警告」の設定（● 34 ページ）がOFFになっている場合、取締エリアや検問エリアでの制限速度も表示されなくなります。

●信号無視抑止システム

信号無視抑止システムの約300m手前から通過直前に、『(右／左方向)すぐ先信号無視抑止システムです』とお知らせします。

・信号無視抑止システムのお知らせをOFFにすることはできません。

●高速道交通警察隊

高速道交通警察隊待機所の約500m手前から通過直前に、『(右／左方向)500m先 高速道交通警察隊待機所です』とお知らせします。

・GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知『500m先』を『300m先／200m先／100m先／すぐ先』とお知らせすることがあります。

・高速道交通警察隊のお知らせをOFFにすることはできません。

●交通監視システム

交通監視システムとは、「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。

約300m手前から通過直前に、『(右／左方向)すぐ先交通監視システムです』とお知らせします。

・本システムは、計測した車速により「速度落とせ」や「速度オーバー」等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実績はありません。

・交通監視システムのお知らせをOFFにすることはできません。

●サービスエリア

サービスエリアの約1km手前で、『(右／左方向)1km先 高速道サービスエリアです』とお知らせします。

・サービスエリアのお知らせをOFFにすることはできません。

●パーキングエリア

パーキングエリアの約1km手前で、『(右／左方向)1km先 高速道パーキングエリアです』とお知らせします。

・パーキングエリアのお知らせをOFFにすることはできません。

●ハイウェイオアシス

ハイウェイオアシスの約1km手前で、『(右／左方向)1km先 高速道ハイウェイオアシスです』とお知らせします。

・ハイウェイオアシスのお知らせをOFFにすることはできません。

●スマートインターチェンジ

サービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシスの告知後、スマートインターチェンジがある場合は、『1km先 高速道スマートインターチェンジです』とお知らせします。

・スマートインターチェンジのお知らせをOFFにすることはできません。

●SA/PA 内ガスステーション

サービスエリアやパーキングエリアの告知後、ガスステーションがある場合は、『1km先 高速道・・・ガスステーションは○○です』とお知らせします。

・上記○○は、ガスステーションのブランド名をお知らせします。

※ガスステーションのブランド名が登録されていない場合は、お知らせしません。

・ガスステーションのお知らせをOFFにすることはできません。

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

・登録は30カ所まで可能です。30カ所を超えて登録しようとしたときは、履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

マイエリアを登録する

① 登録したい地点でエリアボタン[AREA]を押す

『マイエリアをセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイエリア登録できなかったとき〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

マイエリア登録したエリアに近づくとき…

手前約1km／500m／通過中の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき〉

『右(左)方向1km(500m)先マイエリアです』とお知らせします。

〈通過中〉

『通過します』とお知らせします。

・GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を『この先』や『すぐ先』とお知らせすることがあります。

登録したマイエリアを解除する

① マイエリア登録されているエリアで、エリアボタン[AREA]を長押し(約1秒間)する

『マイエリアを解除しました』とお知らせします。

●マイエリア・アイキャンセルエリアを全て解除(消去)するとき

エリアボタン[AREA]を約30秒間押したままにすると、『マイエリアを全消去しました』とボイスでお知らせし、マイエリアとアイキャンセルエリアをすべて消去します。

・一度消すと元に戻せませんので、十分ご注意ください。

5 バンド受信機能について

取締りレーダー波の X・K ツインバンドと GPS の 3 バンドの他に、無線 2 バンド受信をプラスし、5 バンド受信ができます。

[GPS] + [Xバンド
Kバンド] + [無線2バンド] = 5 BAND

1. 無線2バンド受信機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線2バンド(カーロケ無線、取締無線)受信機能を搭載しました。
取締無線、カーロケ無線を受信すると、警報画面とボイスでお知らせします。【無線 2 バンド識別】

<取締無線、カーロケ無線を受信すると…>

受信バンド	警報画面	警報音 (ボイス)
① カーロケ無線		🔊 『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ近接受信です』
② 取締無線		🔊 『取締無線です』

- 警報画面の表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- 警報音(ボイス)は、♪効果音のあとにお知らせします。

2. ベストパートナー 2 識別

カーロケ無線を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。【圏外通知】【特許 第 3780262 号】

- カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。
- 無線設定の「カーロケ・取締無線」(☛ 33 ページ)を「ON」にする
- 「カーロケ・取締無線」が OFF の状態では、ベストパートナー 2 識別を行いません。
- 新システムへの移行により、カーロケ無線が受信しない地域では、ベストパートナー 2 識別は、はたしません。

種々の無線を受信すると・・・

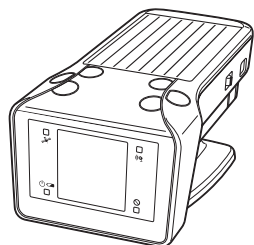
識別項目	注意内容	警報画面	警報音 (ボイス)
① カーロケ遠近識別	緊急車両などが遠方のときや近接している可能性が高いとき		🔊 『カーロケ遠方受信です』
			🔊 『カーロケ近接受信です』
② カーロケ圏外識別	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき		🔊 『カーロケ 圏外です』

- 警報音(ボイス)は、♪効果音のあとにお知らせします。
- 警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 2 識別機能ははたしません。

使いかた／無線編

使いかた／無線編

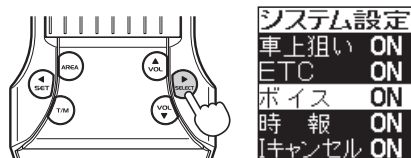
各種設定は、表示部を見ながら、本体のボタン操作で行います。



例 >>

「AAC/ASS」を「OFF」にする場合
(☛ 33ページ)

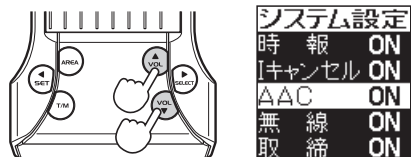
1 セレクトボタンを押す



『ボイスONです』とお知らせし、各項目の設定状態が表示されます。

※ボイスの初期値は「ON」に設定されています。

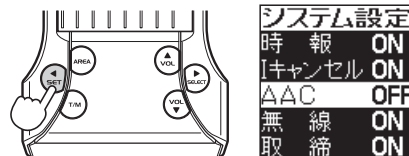
2 アップボタン、またはダウンボタンを押して「AAC」を選択する



▲アップボタン、▼ダウンボタンを押すごとに、『○○ ON です』と選択項目を音声でお知らせします。

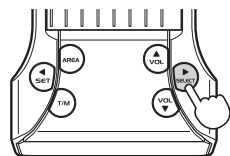
※○○には選択項目が入ります。

3 セットボタンを押して「OFF」を選択する



『OFF です』とお知らせし、設定が変更されます。
セットボタンを押すごとに『OFF です』、『ON です』とお知らせし、設定が変更されます。

4 セレクトボタンを押す



「設定モード」を終了します。

設定項目一覧



▲アップボタン／▼ダウンボタンで設定項目を選択

使いかた／設定編

設定変更中、30 秒間操作を行わないと操作途中までの設定で、自動的に「設定モード」を終了します。

設定項目の詳細説明

〈ボイス〉

レーダー波受信時の警報音を、「ON(ボイス)」または、「OFF(電子音)」から選択できます。

- 初期値は「ON」に設定されています。

選択項目		警報のしかた
ON	ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
OFF	電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。

- GPSターゲットや無線による警報音は変更できません。

〈時報〉

「ON」に設定すると、1時間ごとに(〇〇時ちょうどになると)時刻をお知らせします。

- 初期値は「ON」に設定されています。

〈アイ(I)キャンセル〉(インテリジェントキャンセル)【特許 第3902553号】

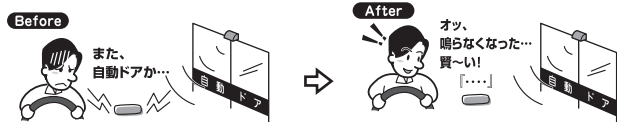
インテリジェントキャンセル機能の ON / OFF ができます。

自動ドアや反対車線のターゲットが原因で誤警報する場所を通過した際、GPS の位置情報を自動で登録し、2 回目以降通過時にレーダー波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

登録は100カ所まで可能です。100 カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

インテリジェントキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。【1 回目】
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。【2 回目以降】



- GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- 「I キャンセル」を「OFF」に設定すると、インテリジェントキャンセル機能を停止させることができます。
- 自動登録したエリアは、「I キャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。
- 登録されたエリアを消去したい場合は、マイエリアの全消去(➡ 27ページ)をご覧ください。

〈AAC〉

「ON」に設定すると、GPS 測位機能により、AAC/ 不要警報カットやASS/最適感度選択がはたります。

● AAC/不要警報カット

走行速度が時速 30km 未満は、レーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても、誤警報することはありません。

● ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

[AAC/ASSの動作]

走行速度	受信感度		警報状態	パワー／AAC ランプ
0km～ 29km	—		警報しない	赤色
30km～ 39km	シティ	低い ↓ 高い	警報する	緑色
40km ～	エクストラ			

- 電源ON後、GPS測位するまでの間は、エクストラになります。
- 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でエクストラに変化します。
- 「OFF」に設定すると、エクストラ感度に設定され、パワー／ACCランプはオレンジ色で表示します。

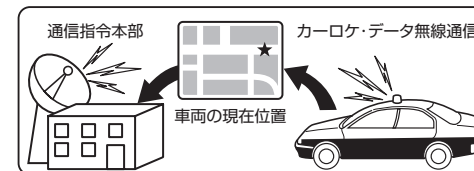
〈無線〉

「ON」に設定すると、カーロケ無線、取締無線の電波を受信した際、警報画面とボイスでお知らせします。

カーロケ無線とは？

「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。

カーロケターシステムを搭載した移動局は、GPS による緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz 帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。



- カーロケターシステム搭載車であっても、使用されていない(OFF にしている)場合等で、カーロケ無線を受信できないことがあります。
- カーロケターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信できる地域であっても、新システムへの移行により、受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域では、カーロケ無線の警報ができません。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズれる場合があります。

取締無線とは？

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHz の電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。

- 取締り現場での連絡方法には 350.1MHz の電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

各種設定のしかた

〈取締エリア〉

「取締エリア警告」のON/OFFができます。

過去に「定置式取締り」、「移動式取締り」、「追尾式取締り」、「一時停止取締り」、「交差点取締り」などが行われていた場所が登録されています。

取締の登録ポイントから約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの3段階でお知らせします。

●ボイスによるお知らせ（例）

- ・約1km手前 →『1km先 取締エリアです』
- ・エリア内に入ったとき →『取締エリアです スピード注意 取締エリアです スピード注意』
- ・エリア圏外になったとき →『取締エリア外です』

※取締りの種類（定置式取締り、移動式取締り、追尾式取締り、一時停止取締り、交差点取締り）のお知らせはありません。

※一部の取締りエリアでは、約1km手前のお知らせを行いません。

※取締エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に取締りが行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

〈検問エリア〉

「検問エリア警告」のON/OFFができます。

過去に「シートベルト検問」、「飲酒検問」、「携帯電話検問」などが行われていた場所が登録されています。

検問の登録ポイントから約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの3段階でお知らせします。

●ボイスによるお知らせ（例）

- ・約1km手前 →『1km先 検問エリアです』
- ・エリア内に入ったとき →『検問エリアです 検問エリアです』
- ・エリア圏外になったとき →『検問エリア外です』

※検問の種類（シートベルト検問、飲酒検問、携帯電話検問）のお知らせはありません。

※検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に検問が行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

〈駐禁監視エリア〉

「駐車禁止監視エリア警告」のON/OFFができます。

本機に登録されている違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域・重点地域に進入すると、『この付近 駐禁監視エリアです』とお知らせします。

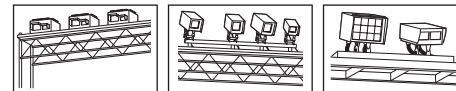
〈エヌ(N)システム〉

「Nシステム告知」のON/OFFができます。

Nシステムは約300m手前から通過直前に、『(右／左方向)すぐ先(高速道)Nシステムです』とお知らせします。

Nシステムとは？

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車両の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。



〈警察署〉

「警察署告知」のON/OFFができます。

警察署の約500m手前から通過直前に、『(右／左方向)500m先警察署です』とお知らせします。

- ・GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知『500m先』を『すぐ先』とお知らせすることがあります。

〈事故多発エリア〉

「事故多発エリア告知」のON/OFFができます。

過去に事故が多発したエリアが登録されていて、約300m手前になると、『(右／左方向)すぐ先事故多発エリアです』とお知らせします。

〈車上狙い〉

「車上狙い多発エリア告知」のON/OFFができます。

本機に登録されている車上狙い多発地域内に進入すると、『この付近 車上狙い多発エリアです』とお知らせします。

〈ETC レーン〉

「ETC レーン事前案内」のON/OFFができます。

ETCのある料金所にさしかかると、『ETC レーンは ○○です』とお知らせします。

- ・ETCレーンは、左側、右側、中央、両サイドのいずれかでお知らせします。

GPS データ更新

GPSデータ更新を行うには、**ity** クラブでのダウンロードや microSD カードによるお届けプラン、本体お預かり更新サービスがございます。

詳しくは、下記ホームページを参照ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/gps/index.html>

ity クラブに関する問い合わせ

◆ ユビテル ity クラブ窓口

受付時間 10:00～17:30 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

TEL. 054-283-5792

◆ ity クラブホームページアドレス

<http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html>

- 本体お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、最寄りの弊社営業所・サービス部にご依頼ください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。



2. 距離と時間で算出する方法(ループコイル式・LHシステム・光電管式)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。

測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

- この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS 測位機能により、警報することができます。

3. 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

- 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、検知できません。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。

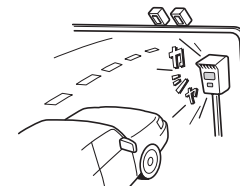
取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機

(新Hシステム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



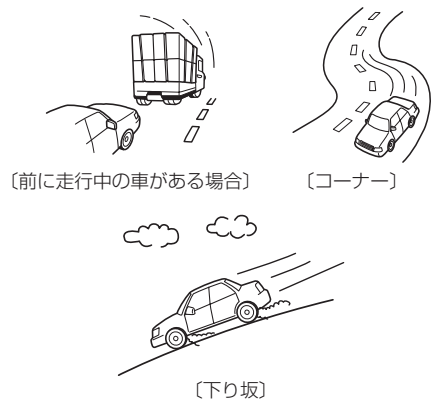
移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出しやすい下り坂では、とくにご注意ください。
- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。



故障かな?と思ったら

つづく

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	- 電源スイッチがONになっていますか。(➡16ページ) - ニッケル水素電池が消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 - オートパワーOFF機能がはたらいていませんか。ニッケル水素電池だけでご使用の際は、停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。(➡17ページ)
充電できない	- 太陽光を十分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 - シガープラグコードで充電できないときは、シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
レーダー警報しない	- 電源が入っていましたか。(➡16ページ) - 警報音は鳴りますか。テスト&ミュートボタン[T/M]を長押しして確認してください。(➡17ページ) - 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 - インテリジェントキャンセルされていませんか。(➡32ページ) - 受信感度モードが「AAC/ASS」の場合、時速30km未満のときは警報しません。(➡33ページ)
GPS警報しない	- GPS測位していましたか。(➡22ページ) - 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。
取締りもしないのに警報機能はたらく	- 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— - 電波式の自動ドア、防犯センサー/信号機の近くに設置されている車両通過計測機/NTTのマイクロウェブ通信回線の一部/気象用レーダー、航空レーダーの一部/他のレーダー探知機の一部 - まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(➡20ページ)

その他

故障かな？と思ったら

症 状	チェック項目
ひんぱんに無線 警報する	・放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響 や周囲の状況により、受信状態になることがあります。 また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射 している場合があります。
取締り現場なの に 350.1MHz を受信しない	・「カーロケ・取締無線」を「ON」に設定していませんか。(☛ 33ページ) ・取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHz の電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
誤警報がキャン セルされない	・「インテリジェントキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。(☛ 32ペー ジ) ・GPS測位していませんか。(☛ 22ページ) ・新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 ・取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

仕 様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	: DC 3.6V (専用ニッケル水素電池1.2V×3) DC 12V (シガープラグ入力充電電圧)	動作温度範囲: -20℃～+85℃ (GPS部: -20℃～+85℃) (UHF部: -10℃～+60℃)
消費電流	: 待機時: 20mA以下 最大: 220mA以下	受信周波数: [GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 350.1 / 470.7MHz帯
受信方式	: [GPS部] 16チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスー パーヘテロダイン方式	外形寸法: 63(W)×47(H)×104(D)mm (電池部/突起部除く)
表示部	: 反射型画素メモリー液晶	本体重量: 145g(電池含む)

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

※ 点検や修理の際、お客様が設定した内容や登録した内容はすべて失われる場合があります。
修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

○保証期間中のとき

保証書内の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

故障相談や使いかた、付属品の購入方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:30 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (0564)66-8411 〒444-2144 愛知県岡崎市岩津町檀ノ上3
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知・鳥取・島根・岡山・広島・山口	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-3-4-2F

使いかたに関するお問い合わせ

受付時間 10:00～17:30 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)
お客様ご相談センター TEL. (0564)45-5599

Blank lined area for writing on page 42.

その他

Blank lined area for writing on page 43.

その他